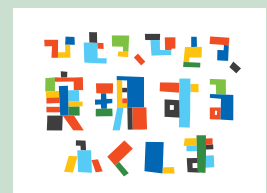




林業福島

No. **685**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



9

2021

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 希 望



多様な森林づくりに向けた苗木の生産

福島県農林種苗農業協同組合
代表理事組合長 野 尻 榮 一

福島県農林種苗農業協同組合の業務運営にあたり、平素よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年九月に本県で開催を予定していましたが「第六回全苗連全国生産者の集い」につきましては、新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大していることから中止せざるを得なくなりました。本県の復旧、復興の現状等を全国に発信できる絶好の機会を逃したことは残念ではありますが、あらゆる機会を通じて全国に広く情報を発信したいと考えております。

本県は、面積の約七割が森林で覆われた緑豊かな県土です。なかでも、これまで先人たちの努力により造成された人工林は、その多くが利用可能となっており、伐採及び間伐等が行われています。国有林においては、コシナ苗を活用した、伐採から造林までの作業を連続して行う一貫作業システムが導入されて、再造林が確実に行われていますが、民有林における伐採跡地においても、再造林が行われずに荒廃することがないよう福島県においてエリートツリー（特定母樹）の普及啓発を含めた種苗生産体制の確立や一貫作業システムに対する財政的な支援が行われています。また、県民の森林に対するニーズは多様化し、スギの花粉症対策や長伐期化、針広混交林化、広葉樹林化等により、多様な森林づくりが求められています。

このような中、当組合としては、スギの花粉症対策のため、県より種子の供給を受けて花粉の少ない苗木の生産に取り組み、令和四年春から本格的に苗木を出荷できることになりました。また、コナラやサクラなどの広葉樹の苗木の要望も年々多くなっていることから、いろいろな広葉樹の苗木の生産にも取り組んでおり、年々出荷本数も増加しているところです。

森林の多面的機能の発揮と持続可能な林業経営のためには、伐採後の再造林が不可欠です。当組合としては、県をはじめ、県内森林・林業関係団体との連携を強化しつつ、多様な樹種の苗木生産を通じて、多様な森林づくりに取り組んでまいりますので、今後とも一層のご協力をよろしくお願いたします。

《も く じ》

とびら	
多様な森林づくりに向けた苗木の生産	
福島県農林種苗農業協同組合	
代表理事組合長 野 尻 榮 一	1
第4回ふくしま植樹祭 ABMORI	
県内限定参加者募集!!	2
県政コーナー	
「ウッドショック」は林業にとって追い風	
となるか	3~4
県内の緑の少年団活動について	5

災害に強い森林の整備・保全の推進に向けて	6
第39回福島県治山林道研究発表会について	7
普及指導員通信	8
森連だより	9
きのこセンターだより	10
木の文化を育む⑩	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば・お知らせコーナー	13

「第4回ふくしま植樹祭-ABMORI-」県内在住者限定参加者募集!!

ふくしま植樹祭実行委員会



昨年10月に福島県「昭和の森」（猪苗代町）で開催予定でした第3回ふくしま植樹祭は、新型コロナウイルス感染症対策として参加者を県内に限定し、1,087人の参加が予定されておりましたが、台風14号の影響により、参加者の安全を第一に考慮し、中止となりました。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す中で、ふくしまの美しい緑と心が、未来も豊かであり続けるよう、「森林づくりを続ける、広げる、繋げる」をテーマに、未来を担う子供たちに美しい故郷を継承する思いを込めた植樹祭を、11月7日(日)に双葉郡浪江町「海岸防災林」で開催します。

当日は、東日本大震災の津波で被災した海岸防災林の再生に向けてクロマツ苗約8千本の植樹活動のほか、森林のアロマづくりや丸太切り・薪割りなどの参加型体験プログラムを用意しております。

また、2021年ミス日本みどりの女神の小林優希さんと福島県出身で2017年ミス日本みどりの女神の野中葵さんも、皆様と一緒に活動に参加されます。

さらに、歌舞伎俳優の市川海老蔵さんオリジナルグッズや、ABMORIグッズを参加された方の中から抽選でプレゼントするなど楽しみ満載です。

今回は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止の観点から、**福島県民の皆さま限定の募集**となりますが、どうぞ、奮って参加されますようお願い申し上げます。

〈申し込み方法〉

●WEBからの申し込み

第4回ふくしま植樹祭ホームページから申し込みいただけます。

●ファックスからの申し込み

第4回ふくしま植樹祭チラシ裏面の参加申込書に必要事項記入のうえ、**FAX 024-521-8390**に送信願います。



問い合わせ先

ふくしま植樹祭実行委員会事務局

TEL 024-521-2550

(土日・祝日を除く10:00-17:00)

県政コーナー

「ウッドショック」は林業にとって 追い風となるか

福島県林業振興課

1 経緯と現状

いわゆる「ウッドショック」ですが、今年度に入ってから急速に社会現象化し、今では一般の方々にも「木材が値上がりしている」と認知されるようになりました。

ことの始まりは、米国において、低金利政策を背景に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で在宅勤務の増加に伴う郊外戸建て建設が活況を呈し、木材需要が急増したほか、中国がいち早く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を脱し、木材輸入等の経済活動を再開したことにあります。

世界的な巣ごもり需要の高まりによる海上輸送コンテナの不足もあり、日本への外材輸入量の減少と価格高騰が発生し、折しも日本国内では新型コロナウイルスの影響で一時的に素材生産量や製品在庫が抑制されていた状況でしたので、突如として大きな需要圧力が発生したことで国産材製品が逼迫してしまいました。

県内の木材価格も高騰しており、直近七月の市況は次のようになって

います。

○代表的な素材価格(柱用スギ丸太)

県平均

一六、五〇〇円/立方メートル

(前年同月比一・五倍)

○代表的な製材価格(スギKD柱材)

県平均

一一一、六〇〇円/立方メートル

(前年同月比一・九倍)

2 関係業界の実情

このような状況を踏まえ、県では、素材生産、木材市場、製材業、プレカット、国有林、建設業、建築大工業など、木材の利用や流通に関わる各分野の関係者が相互に現状認識を共有して対応策を協議するため意見交換会を定期的に開催しています。

これまで、令和三年六月十五日と八月三日の二回実施しましたが、とりわけ地域に根ざした工務店にとつてウッドショックの影響は深刻であり、施主への価格転嫁もままならない中で対応に苦慮されている現状が

浮き彫りとなりました。

一方、素材原木や木材製品の供給者側の見解は、

○素材生産業においては、森林所有者と伐採箇所や時期の調整を要するため、素材原木の不足に即応した増産が困難。また、労働力や機械力の面から生産量を急増させることは困難。

○製材事業者においては、国産材で外材の代替需要に対応するためには、人工乾燥が必須であるため、乾燥機の能力以上の増産は困難。また、強度や寸法規格の面から外材の代替が困難な部材もある。

といったものでした。



関係者による意見交換会

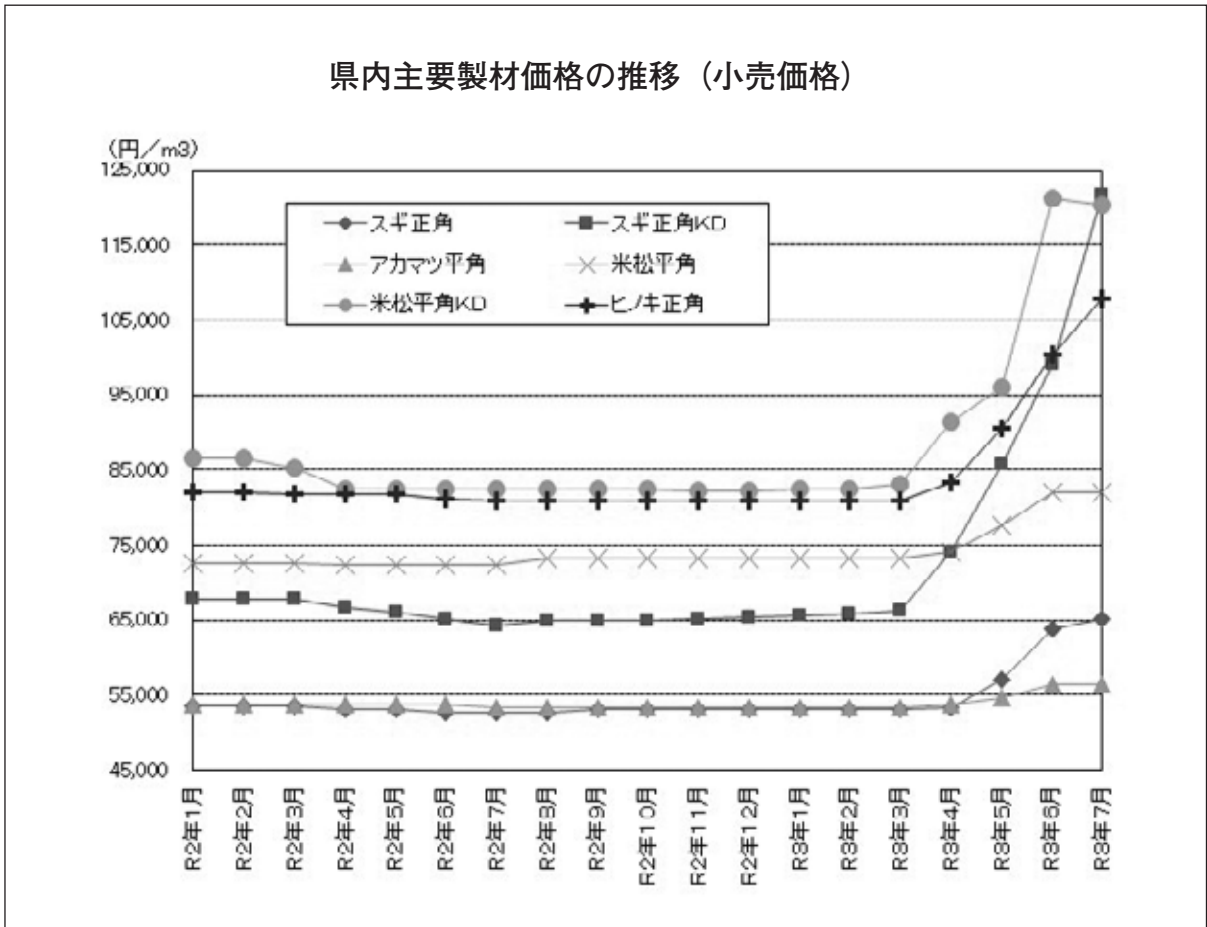
このような川上・川中側の実情を木材需要者サイドにある程度ご理解いただけたものと考えており、今後とも関係者間における情報共有と課題解決に向けた双方向の交流を図る意味でも、このような意見交換会を継続していきたいと考えております。

3 今後の展望

さて、ウッドショックによって木材価格がせっかく採算性のある妥当な水準になったのだから、林業・木材産業にとってこれは追い風ではないか、まさにウッドチャンスではないか、と考えたくなるのが人情です。しかし、素材生産業や木材産業の皆様からは冷静な雰囲気を感じられます。木材価格の先行きが不透明で、いつ市況が急転するか予想がつかないため設備投資に踏み切れず、高値での引き合いが強まっているのと思うような売り捌ぎができない、といったジレンマもあるかと思えます。また、このような急激な価格変動によって木材利用や木造建築を敬遠するような気運が醸成されるのではないか、という懸念もあります。

ウッドショックを逆手にとるには、需給動向にシなやかに対応できる産業基盤と木材自給率の向上がポイントになると思われますが、関係者の意見交換会ではそのヒントも示されました。具体的には、採材寸法の柔軟化や大径材の活用によりツーバイフォー部材などへの利用を拡大することや、建築部材の寸法規格をシンプルにして多様な構法に県産材の用途を拡大することなどです。

県内主要製材価格の推移（小売価格）



4 県の取組

県では、業界による需給構造の変革がスムーズに進むよう、長期的な視点から林業・木材産業の足腰を強化していくため、今後も引き続き、県産材の安定供給に向けた路網の整備や高性能林業機械の導入、木材加工施設等の整備などを支援していくほか、大径材のサプライチェーン構築の取組も一層推進してまいりたいと考えています。さらには、林業の担い手対策として「林業アカデミーふくしま」の運用による人材確保・育成にも取り組んでまいります。

需要に応じた確実な県産材供給がユーザーから評価され、一定水準の価格維持が叶えば、森林所有者への利益還元による再造林サイクルが促進される好機にもなると期待される所です。

県内の緑の少年団活動について

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

緑の少年団とは

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体です。

福島県の緑の少年団は、1974（昭和49）年に川内村で結成されて以降、県内各地の小学校等において結成され、令和3年5月現在、112団（44市町村）となっており、森林や緑に関する学習活動、奉仕活動等に取り組んでおります。中でも、今年度は54団の少年団が当協会の活動助成金を活用しながら、活動されています。

緑の少年団活動コンクール

本コンクールは、福島県緑の少年団育成協議会と当協会が主催し、緑の少年団の研鑽を目的に、少年団が1年間取り組んできた学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動などについて審査を行い、優秀な成績を収めた少年団を表彰するものです。

令和3年度（第42回）福島県緑の少年団活動コンクールにおいて、会津若松市立大戸小学校緑の少年団が、5年連続となる福島県知事賞に輝きました。

大戸小学校緑の少年団は例年、プランターに植栽したマリーゴールドを地域の施設などを訪問し配布していましたが、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、摘んだ花を押し花にしてメッセージカードを作り、これまで訪問し配布していた施設に贈るなど、工夫を凝らした活動を展開したことが評価されました。

今回の審査結果は次のとおりです。（参加少年団24団）

福島県知事賞

会津若松市立大戸小学校緑の少年団

福島県教育委員会教育長賞

会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団

関東森林管理局長賞

喜多方市立第一小学校みどりの少年団

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞

相馬市立山上小学校緑の少年団

福島県緑の少年団育成協議会長賞

田村市立緑小学校みどりの少年団／磐梯第二小学校緑の少年団（磐梯町）／猪苗代町立緑小学校緑の少年団

奨励賞

石田みどりの少年団／伊達市立石田小学校 他16団（協会H・Pに掲載）

表彰式は、7月29日（木）、大玉村農村環境改善センターにおいて開催する第47回福島県緑の少年団大会の式典の席上で行う予定でしたが、新型コロナウイルスの新規感染者が増加傾向であること、また台風8号による影響などを考慮し、中止いたしました。

緑の少年団の活動は、コロナ禍においても、新たな時代に必要とされる未来をたくましく生き抜く力を身に付け、人間性や創造性を高める森林や緑を教材とする学習活動になります。県内すべての緑の少年団が、更なる活動に取り組めますよう、今後とも支援してまいります。



令和2年度活動風景
（知事賞受賞大戸小）



花のメッセージカード
（知事賞受賞大戸小）

災害に強い森林の 整備・保全の推進に向けて

福島県
森林計画課
森林整備課
森林保全課

○はじめに

近年、短時間強雨の発生回数や長時間降雨が増加傾向にあり、全国的に毎年のように山地災害が同時多発化・激甚化するとともに、下流域では想定を超える水害が発生しています。

このような中、森林の有する公益的機能を持続的に発揮していくため、本県においては、森林の整備及び山地災害からの早期復旧や保安林における計画的な治山施設の設置を進めています。

さらには、水害リスクの増大に備えるため、河川管理者が主体となつて行う治水対策に加え、河川流域全体に関わる関係者が治水に取り組み「流域治水」の取組が始まっており、河川上流域にあたる森林の整備がより重要となっております。

改めて、災害に強い森林の整備・保全に向けた取組を紹介します。

○森林の整備

災害に強い森林をつくるためには、山地災害の防止や水源のかん養などの森林の有する公益的機能の維持・増進を図る必要があります。このためには、戦後の拡大造林により造成され森林資源が充実してきた今の森林を若返らせることが重要であり、「伐つて、植えて、育てる」持続的な森林づくりを進めていく必要があります。

また、台風や豪雨等の自然災害により倒木被害が発生した場合には、下流への流出による二次被害を防止するため、被害木の処理を速やかに行うことも大事です。

そこで、県では、植栽から下刈り、除伐、間伐等の保育施策にかかる経費に対する支援はもとより、森林環境基金森林整備事業による伐採、再造林を一連に行う一貫作業システムの実施や、森林の被害木の整理等への

の支援の強化を図り、災害に強い森林づくりを進めています（写真1）。



写真1 間伐等整備が行われた森林

○森林の保全

森林の公益的機能の発揮に重要な役割を果たしている保安林において、山地災害の防止など保安林の機能を維持強化するため、植栽、森林の造成等を行うとともに、山腹斜面や渓流を安定させるための治山ダム工、土留工、流路工等の施設の整備を計画的に実施しています（写真2）。

また、津波により大きな被害を受けた海岸防災林について、多重防御の一環として十分な林帯幅の確保と盛土及び植栽等により、津波防災機能

を強化した復旧・整備を行うなど保安林に求められるそれぞれの公益的機能の向上により森林の保全を図っています。



写真2 渓流の浸食を防止するための流路工

○おわりに

災害に強い森林の整備・保全は、これまで行ってきた間伐、再造林等の森林整備、保安林の機能強化を長期にわたり、計画的、着実に進めていくことが、より重要となっております。林業に携わる皆さんと連携を図りながら、流域一体となつて進めることが不可欠です。本県の健全な森林づくりに向け、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第39回福島県治山林道研究発表会について

福島県森林整備課・森林保全課

1 はじめに

福島県では、治山・林道等森林土木業務の研究・情報・体験等の発表や意見交換等を通じて職員の技術の向上を図り、森林土木事業の発展に寄与することを目的として、標記発表会を開催しました。

2 発表会について

発表会は、令和3年7月20日(火)に福島県郡山市の福島県林業研究センター研修本館で開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、発表者のみの参加としたものの各農林事務所とWeb会議のシステムを活用するなど、今までにない新たな取組を取り入れて実施しました。発表では、治山部門6件、林道部門3件の計9件の発表がありました。



主催者あいさつ

3 発表内容

発表内容及び審査結果は次のとおりです。

No.	所 属	氏 名	区分	題 名
1	県北農林事務所	浅賀 瑞穂	治山	県北地区における残置型枠施行状況と現在の状態について(第二報)
2	森 林 整 備 課	菅野 萌	林道	東日本大震災から10年—被災林道の完全復旧に向けて—
3	県中農林事務所	小椋 佳	治山	UAV撮影画像を用いた簡易写真測量の精度向上に関する検討
4	森 林 保 全 課	片野 高志	治山	海岸防災林における今後の管理について
5	会津農林事務所	半沢 竜馬	林道	希少猛禽類の生態系に配慮した林道工事に関する近年の取組
6	県南農林事務所	吉岡 圭太	治山	谷止工の維持管理計画の策定について
7	南会津農林事務所	小泉 匡平	治山	寺沢山地区(南会津町南郷)における地すべり防止工の湧水対策について
8	南会津農林事務所	伊藤 瞬	林道	林業専用道計画における航空レーザ計測データの活用
9	いわき農林事務所	長澤一太郎	治山	木製治山ダムの現在(いま)

審査員13名による厳正な審査が行われ、その中から、治山・林道それぞれで全国や北海道・東北地区で行われる発表会の推薦を決定しました。

【第61回治山研究発表会へ推薦】

県中農林事務所 小椋 佳

【第56回林道研究発表会へ推薦】

南会津農林事務所 伊藤 瞬

【第56回北海道・東北地区治山林道研究発表会へ推薦】

南会津農林事務所 小泉 匡平

会津農林事務所 半沢 竜馬

4 おわりに

本発表会は2年ぶりの開催となりましたが、現在実施されている治山・林道事業の問題や解決策について、意見交換を行うことで、発表者・参加者ともに知識や認識を深めることができました。

また、初めて実施したWeb会議システムについても今後は更に発展させて、より効果的な発表会を開催していくとともに、職員の技術向上を図ることで、近年、激甚化・頻発化している自然災害への対応に活かしていきます。



発 表



講 評

いわき地区における林業の活性化の取組

いわき農林事務所

林業普及指導員 松本文章

1 はじめに

いわき地区の森林面積は88,744haであり、森林率は72%となっています。このうち民有林は58,039haであり、その56.9%の33,039haが人工林となっています。これは県平均の37.2%を大きく上回っていることから、当地区は人工林による森林資源が充実している地域といえます。

スギ22,300ha、ヒノキ2,735ha、アカマツ・クロマツ7,629ha、カラマツ109ha、その他針葉樹2haとなっています。

このうち45年生以上のスギについては、面積で17,544haに上り、全体の78.6%と大きな割合を占めています。さらに60年生以上では28.6%の6,382haとなっており、高齢級化したいわき市産のスギの利用拡大が課題となっています。

2 一体感のある取組

いわき地区では、林業の振興を図るため関係者が一丸となって様々な取組を行っています。

いわき農林事務所では、委員など構成員として各種会議に参画し、補助事業や各種情報の提供などにより、これらの取組を支援しています。

今回は、その中でも主だった取組についてご紹介します。

(1) いわき市産木材利用推進会議

いわき市の林業・木材産業の活性化と、公共建築物等の木造化及び木質化や、行政と市内の林業・木材産業・建築業等の関係者との連携による地元産材の利用を推進するために設置されました。

この会議の中で意見交換を行い、いわき市豊かな森づくり・木づかい条例が制定され令和3年4月1日から施行されました。

この条例の施行に合わせいわき市では、公共建築物木造・木質化専門アドバイザー事業、いわき市産木材PRイベント事業、いわき市産木材利用住宅ポイント事業の3本の柱に取り組んでいます。

(2) いわき市持続可能な森林・林業推進会議

地元産木材の需要拡大による林業・木材産業の振興と持続的な森林資源の確保並びに人材の育成を両立して有機的に推進し、川上への利益循環とサプライチェーンマネジメント推進体制の構築を図って、林業の成長産業化を達成することを目的に、いわき地区の川上から川下の林業関係者や行政機関、学識経験者等を構成員とし、平成31年3月に設立されました。

森林認証材の伐採から輸送、加工に係るコスト削減と森林所有者等への利益還元を図るため、G空間情報やICTを活用したサプライチェーンマネジメントの構築を目指し、林野庁事業である「スマート林業構築実践事業」に取り組んでいます。



道の駅ふくしま建築状況（令和3年4月）



スギ大径材（30cm角6.0m）

3 林業の成長に向けて

これらの推進会議等により、いわゆる川上、川中、川下の意見交換が活発になされ、いわき市産の木材の活用が促進されています。

いわき市森林組合では、いわき市三和町の森林において森林認証(SGEC)を取得し、差別化による販売促進を目指しています。現在、福島市大笹生地内で福島県産材の活用を仕様として建設中である「道の駅ふくしま」では、認証材や、いわき材加工センターで加工した30cm角6.0m柱材などのいわき市産木材も使われ、令和4年春の開業が楽しみなところです。

このように、いわき市の林業関係者が一丸となった取組は着実に形となって進んでいます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響から、各種会議も予定どおりの開催が困難な状況となっています。このため、いわき農林事務所では、関係者それぞれに対する事業等の指導に合わせ情報を共有するなど、関係者間の連携の維持を図りながら、いわき地区の林業成長産業化を推進していきたいと考えています。



いわき市持続可能な森林・林業推進会議

森連だより

「森林保険制度」
について

我が国の森林保険制度は、東邦火災保険をはじめとした数社が森林火災保険の営業開始したことが始まりです。

その後、森林所有者の皆様の声により昭和十二年に、林齢二〇年以下の人工林に対する火災跡地の再造林を対象とした国営の森林火災国営保険が創設されました。更に、昭和三十一年に全国森林組合連合会による森林災害共済事業が開始されました。昭和三十六年に気象災、五三年には噴火災にも対応する保険へ展開し、現在では火災・気象災（風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害）、噴火災に対応した保険制度となりました。平成七年には、森林国営保険と森林災害共済がセットとなった森林共済セット保険が開始されましたが、平成十四年に森林国営保険へと移管され一本化後、行政改革・財政改革の流れにより、平成二十七年四月から現在の「森林保険」が誕生しました。



更に、より良い森林保険を目指し、平成三十一年四月より森林保険の制度が一部見直されました。

- 一、保険料率の見直し
 - 二、保険料の割引制度の導入
 - 三、保険料の長期割引の見直し
 - 四、複数契約の開始日を統一する
- 仕組みの導入の改正が行われ、契約者が加入しやすい保険となりました。現在の「森林保険」は、森林保険法に基づき森林所有者を被保険者として、

- 火災……山火事で受けた損害
- 噴火災……火山噴火による焼失
- 幹折れ、埋没、根返りなどの損害
- 風害……暴風による幹折れ、根返りなどの損害
- 水害……豪雨、洪水による埋没、水没流失などの損害
- 雪害……豪雪、積雪による幹折れ、根返りなどの損害
- 干害……乾燥による枯死などの損害

凍害……凍結、寒風などによる枯死などの損害
 潮害……潮害、塩水浸水などによる枯死などの損害
 の八災害を填補する総合的な保険となっており、人工林の森林の立木に対して森林所有者が自ら災害に備える、唯一のセーフティネットとして、林業経営の安定、被災地の早期復旧に大きな役割を果たしており、日本の森林を自然災害からお守りする保険、それが「森林保険」の役割です。

森林保険の加入状況としましては、保険加入面積を人工林面積で割った加入率が右肩下がりと年々減っているのが現状です。令和二年度の加入率は、全国が七・五割、福島県が五・〇割と全国を下回っており、平成二二年度の一〇・一割から十二年度で約半分まで加入率が下がってきているのが現状です。

『森林保険加入状況』 令和2年度末

	全 国	福島県
人工林面積 (ha)	7,915,724	207,930
保険加入面積 (ha)	591,267	10,474
加入率 (%)	7.5	5.0

要因としては、造林補助事業の義務加入が無くなったことや植栽事業等の減少、長引く木材価格の低迷などにも影響し、また所有者の代替わりにより森林への関心が薄れていることなどが挙げられます。

近年は異常気象により、各地で毎年のように大規模な災害が発生している状況です。

台風・線状降水帯などの豪雨による「水害」、台風・突風・竜巻などの暴風による「風害」、五月～七月の植栽時期の気温上昇による「干害」、大量の降雪・着雪による「雪害」などの被害が発生しております。

本県においても令和元年十月の台風二四号の罹災（水害）において、五〇件の発生が報告されており、これまでに三六〇万円の保険金が支払われました。

戦後の拡大造林により伐期を迎えた森林は増加しています。これから台風シーズンを迎えるに当たり、万が一の災害に備え、みなさまの大切な財産をお守りする『森林保険』へのご加入を検討ください。

お問い合わせは、最寄りの各森林組合又は福島県森林組合連合会（業務課 森林保険担当 TEL 〇二四一五二九一五三九〇）までご連絡をお願い致します。



団体のページ

きのこセンターだより

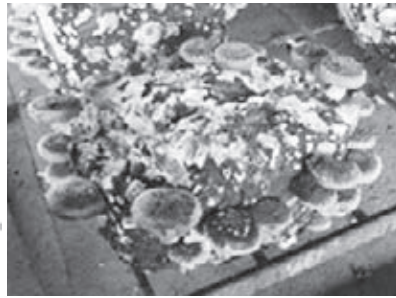
きのこ栽培のススメ
～家庭で簡単きのこ栽培～

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

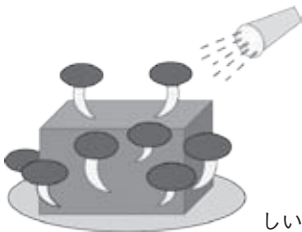
簡単に美味しい、新鮮な「きのこ」が自分で作って食べられたら・・・自分で育てた「きのこ」を収穫する喜び、それを料理して食べれば味は最高！家庭きのこ栽培にはこれらのエッセンスがつまっています。そこで今回は、特別な道具や知識がなくても大丈夫な自宅室内で出来る「簡単なきこの栽培法」についてご紹介いたします。

～しいたけの菌床栽培～
栽培場所…室内

- 家庭で一番食されているきのこで、和食、中華など、用途は様々です。
- 1. 室内環境と時期…直射日光が当たる場所は避け、室内でも比較的涼しい日陰で管理して下さい。また、時期としては四～六月と九～十一月が適期で、夏と冬は避けるようにして下さい。
- 2. 設置…菌床は袋に入っていますので、袋から出して下さい。排水の受け皿として、菌床より大きめ



収穫直前の菌床しいたけ



しいたけ菌床の管理の様子

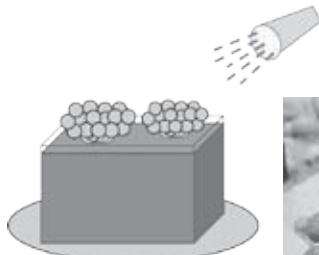
- のトレー（皿、鉢皿でも可）の上に置き、栽培場所に移動します。
- 3. 管理…じょうろや噴霧器で全体に毎日水を与えます。芽が親指大になったら散水を少し控えます。
- 4. 収穫…きのこが小さくても傘が八～九分開きになったら茎から切って収穫します。茎の根元部分を取り残すと、カビが生える原因となるので注意しましょう。
- 5. 二回目の発生準備…一回目の収穫が終了した後は、菌床の表面が乾かない程度（二～三日間隔で水をかけます。）に二〇日程度そのまま管理します。その後、バケツかタライを利用して六～八時間浸

水した後、またトレーの上に置き、栽培場所に移動させます。その後は一回目発生と同様に管理をして下さい。菌床の状態が良ければ三回まで発生が期待できます。

～なめこの菌床栽培～
栽培場所…室内

秋の定番のきのこで汁物に良く合うため、なめこ汁やけんちん汁で良く食べられています。

- 1. 室内環境と時期…しいたけ菌床の場合と同様に、直射日光が当たる場所は避け、室内でも比較的涼しい日陰で管理して下さい。九～十一月頃が適期です。
- 2. 設置…菌床はブロック形状で袋に入っています。カッター等で菌床表面に沿って、表面から二センチ程度上の部分を切り、菌床表面を出して、底面は排水対策としてカッター等で×に切ります。そして、排水の受け皿として、菌床より大きめのトレー（皿、鉢皿でも可）の上に置き、栽培場所に移動します。
- 3. 管理…じょうろや噴霧器で表面に毎日水を与えます。芽切り（発芽）するまで表面が乾燥しない様に新聞紙などをかけて湿度を保つのがポイントです。十日～十四日程度で芽が確認できたら新聞紙をとり、散水は多少控えます。
- 4. 収穫…発芽後、五～七日程度で収穫期になります。きのこの裏側の幕が切れる前に菌床から剥が



なめこ菌床の管理の様子



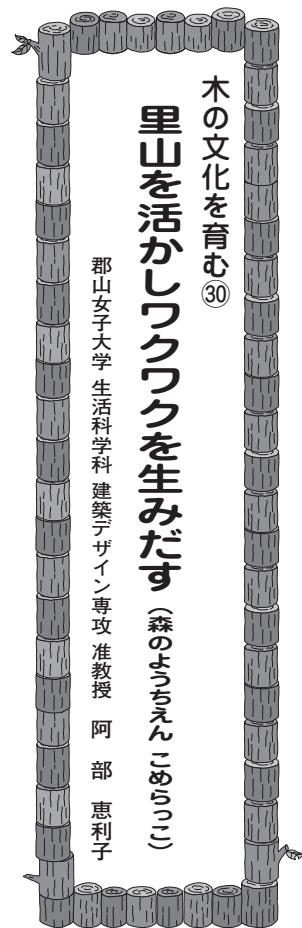
収穫直前の菌床なめこ

- し、収穫します。
 - 5. 二回目の発生準備…二回目の収穫が終了した後はお風呂場等に菌床を移動させ、菌床の袋上部まで溢れる位に水を注ぎます。二～三時間放置後、菌床を袋ごと逆さまにして水を捨てます（五分程度そのままにする）。捨て終わったらまたトレーの上に置き、栽培場所に移動させます。その後は一回目発生と同様に管理をして下さい。
- 今回ご紹介した各菌床の購入先、栽培方法などのお問い合わせは(公社)福島県森林・林業・緑化協会きのこ振興センターまでお願いします。

木の文化を育む③⑩

里山を活かしワクワクを生みだす (森のようちえんこめらっこ)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子



○はじめに

磐梯山や猪苗代湖など、四季折々の豊かな自然に恵まれた猪苗代町には、子どもたちが遊びをとおして、主体性を育む資源が沢山あります。地域の自然環境を活かした様々な体験は、その地域の伝統文化や自然環境に対する意識を醸成するとともに、物事を感じ、考え、自らの意思で行動する力を育みます。

○日々の暮らしをワクワクに

森のようちえんこめらっこ(猪苗代町壺楊) 代表 土屋美香さんは、日々の暮らしをワクワクに変えるため、農家・保育士・カレー屋の三つの肩書を活かし、日々の暮らしをコーディネートしています。

結婚を機に東京から福島県の猪苗代町へ移住した土屋さんは、ご主人とともに「のうのば」(屋号)で農薬や化学肥料を使わずに、会津伝統野菜や米を栽培しています。また、出産を経て独学で保育士資格を取得した土屋さんは、子育て中の仲間と

「森のようちえんこめらっこ」を立ち上げました。里山でのイベント時には、栽培した野菜や米を使ってパングラデシユのカレーを作り、販売することもあります。

○森のようちえんこめらっこ

「森のようちえんこめらっこ」は、土屋さんが長男の育児を通じて「豊かな自然の中で、子どもがしたいことを伸び伸びさせたい」という想いからスタートした自主保育サークルです。「里山あそびば」として園舎を解放し、里山をフィールドに年齢制限なく0歳から誰でも参加できるサークルとして活動しています。現在はコロナ感染対策として、晴れの日のみ五組限定の予約制で、土屋さんが遊びをコーディネートしています。

子どもたちの「やってみたい」気持ちや五感をフルに使う体験を大切に、里山探検、食事作り、農業体験、季節の手仕事、ものづくり、異年齢交流など、盛り沢山の活動を展開し

ています。特に猪苗代町を巡り、故郷の良さを体感したり、会津伝統野菜を栽培・販売するなど、地域に根付いた活動に力を入れており、農業体験では種まきから収穫、種取りまで一連の農作業を体験できます。

○親子で里山探検

里山探検では、田植え、稲刈り、生き物調査、草木染めなど、四季の恵みを活かした体験をとおして親子で楽しみながら自然の摂理や環境、生活の知恵を学びます。

夏季は猪苗代の澄んだ湖や集落の川を探検し、川エビや川ハゼを捕まえたり、野イチゴを摘んだり、自然を全身で感じて過ごします。

○地域における循環づくり

土屋さんは、地域の資源や人材の循環を念頭に、日々の活動が自分たちだけで完結しないよう、常に心掛けて活動しています。

今年の夏は、磐梯町の農家とともに「藍染め体験」やアクアマリンいなわしるカワセミ水族館と「生き物探し会」、猪苗代町の民宿と「ルバーブ収穫&ジャム作り会」、はじまりの美術館と「アート教室」など、地域の資源や人材とともに、盛り沢山のコラボイベントを開催しました。これらの活動の根底には、子どもたちの心に自分たちの地域の可能性や

魅力を、身体を通して感じてほしいという土屋さんの想いがあります。「大人たちがワクワクしながら連携して様々なことを生み出していく姿を子どもたちに見てもらい、一緒に楽しむことが、持続可能な地域づくりに繋がっていくのではないかと考えています」と土屋さん。猪苗代の豊かな自然の中で、こどものための豊かな体験活動の場だけでなく「まちづくり」「つながりづくり」にも向き合うようになってきたと感じている今日この頃です。

○まとめ

地域における里山と人との繋がりは、子どもたちの健やかな成長を願う子育て世代の子育て力を高めるとともに、元氣な地域づくりの源にもなっています。



自然の中でのびのびと遊ぶ様子

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(2021年6月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

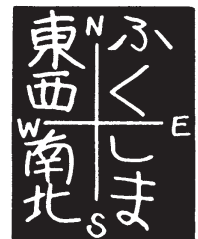
区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (9~10)	△1	(0~0)		10 (10~10)	0	9 (9~10)	△1
		10~14		並	スギ	15 (15~15)	0	(0~0)		15 (13~16)	0	15 (13~16)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	17 (15~18)	0	14 (14~14)	1	19 (16~23)	△1	17 (14~23)	0
				並	ヒノキ	20 (18~22)	0	(0~0)		24 (22~26)	0	22 (18~26)	0
		6.00	並	スギ	19 (16~22)	1	14 (14~14)	4	20 (20~21)	△2	19 (14~22)	1	
			並	ヒノキ	28 (28~29)	1	(0~0)		29 (28~30)	3	29 (28~30)	3	
		20~28	3.65	並	スギ	15 (15~15)	1	12 (11~14)	0	15 (14~16)	0	14 (11~16)	0
			4.00	並	スギ	15 (15~15)	1	11 (10~12)	0	15 (14~17)	1	14 (10~17)	1
	並		アカマツ	11 (8~13)	0	(0~0)		11 (9~12)	1	11 (8~13)	0		
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		32 (32~32)	0	32 (32~32)	0
				並	米マツ	(0~0)		34 (34~34)	1	32 (32~32)	0	33 (32~34)	0
		28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	0	30 (30~30)	0
並				アカマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	0	30 (30~30)	0	
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	
			並	広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	0	

五月の原木市場への入荷量は、前月比二六割減(前年比五割減)の一九、九九五立方メートルとなっている。
 販売量は、前月比二六割減(前年比五割減)の一九、九三五立方メートルとなっている。
 六月の価格は強保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	0 (0~0)	0	7 (6~8)	0
	13~14		並	カラマツ	0 (0~0)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	12 (12~13)	△2	9 (8~10)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

初夏になると早朝、山から「キョロロロ」という綺麗な囀りが聞こえてくる場合があります。この囀りの正体が今回紹介する野鳥、「アカシヨウビン」です。アカシヨウビンは五月頃になると繁殖のために日本に渡ってくるカワセミの仲間で、その特徴的な囀りと赤く綺麗な姿から非常に人気があり、青森県などの有名な営巣地では毎年数十人もの野鳥愛好家が集まるほどです。そんなアカシヨウビンですが、南会津では声を聞くことは簡単で、林道や山中だけでなく、なんと公舎からでも囀りを耳にすることがあります。特に只



「赤い鳥」

南会津農林事務所 林業課 高田 真大朗

四月に南会津で働き始めてから三ヶ月が経ちました。南会津には学生時代に野生動物の調査のために二、三度訪れたことがあり、ある程度の雰囲気は分かっていたのですが、実際に住んで生活してみると、その自然の豊かさに圧倒されます。今回はそんな南会津で出会ったとある野鳥について紹介したいと思っています。

見町ではかなり個体数が多いようで、先日、林道を運転している際に道路の脇に留まっている姿を写真に収めることができました。残念ながら白黒の写真では実際の綺麗な姿が伝わらないですが、興味をもっていただけの方はアカシヨウビンに会いに南会津地域に足を運んでみませんか。



はなしの
ひろば

秋のいろ

九月始めは、まだ夏の暑さの名残を感じるが、虫の音が響き渡る夜には、もう冷気さえ感じるようになる。ふと、逝く夏を惜しむ。あのオリンピック・パラリンピックや高校野球のひと夏の熱さが、一気に日本列島から遠ざかっていき、そして、「燕雁代飛」夏鳥も去っていく。また、半袖からのぞいた腕を思わずさすりたくなる夕刻、大きな夕焼けが、空をそして町を秋色で包み込む。

風の通り道を作った家では、外した障子や襖を入れて暖をとる準備をする。軒下の南部鉄の風鈴は、そのままに、いまだ風の形に音をこぼしている。秋の風の形はどんなものだろうか。庭のススキが、秋の風に軽やかに揺れている。私は、その風をも欲しくてススキを活かしてみる。

夏から冬へと移ろうこの光景に、自分の齢の分だけ思いを重ねてきたはずなのに、移ろいゆくこの秋の姿を心に刻みたい、と毎年のように思うのだ。今年三月一日、一〇七歳で亡くなった美術家・版画家の篠田桃紅氏は「ひろ葉の赤の染め色の深さ、針葉の黄の織りのこまやかさを墨に託す。墨に託すことは、目に見える色を心の色に置きかえることである」と著書の「墨いろ」―秋のいろ―に記している。

少しずつ澄んでいく秋気が、それぞれの心に沁み始めたら、自分だけの「秋のいろ」を重ねてみたらどうだろうか。 (都)

表紙の写真



「希望」

第35回 ふくしま緑の写真コンクール 入選
受賞者 星 洋一さん(南会津町)
撮影場所：南会津町

編集 福島県内四森林管理署
発行 福島県森林・林業・緑化協会
発行人 福島県木材協同組合連合会

編集 福島県内四森林管理署
発行 福島県森林・林業・緑化協会
発行人 福島県木材協同組合連合会
編集 福島県農林種苗農業協同組合
発行 福島県農林種苗農業協同組合
発行人 福島県農林種苗農業協同組合
編集 福島県農林種苗農業協同組合
発行 福島県農林種苗農業協同組合
発行人 福島県農林種苗農業協同組合
編集 福島県農林種苗農業協同組合
発行 福島県農林種苗農業協同組合
発行人 福島県農林種苗農業協同組合

お知らせコーナー

●連絡先一覧

事務所名	住所・連絡先
県北農林事務所 (森林林業部)	福島市杉妻町2-16 (福島県庁北庁舎5階) 024-521-2632
県中農林事務所 (森林林業部)	郡山市麓山一丁目1-1 024-935-1367
県南農林事務所 (森林林業部)	棚倉町大字関口上志宝50-1 0247-33-2123
会津農林事務所 (森林林業部)	喜多方市松山町鳥見山字天神6-3 0241-24-5734
南会津農林事務所 (森林林業部)	南会津町田島字根小屋甲4277-1 0241-62-5375
相双農林事務所 (森林林業部)	南相馬市原町区錦町一丁目30 0244-26-4305
富岡林業指導所	富岡町小浜553-2 0240-23-6084
いわき農林事務所 (森林林業部)	いわき市平字梅本15 0246-24-6193

※最新情報は福島県林業振興課ホームページでご確認ください。
(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>)

○野生きのこの出荷・販売・譲渡等の制限について

野生きのこが発生する季節となりました。国が出荷を制限している市町村から採取された野生きのこは、出荷・販売、飲食店などでの提供、無償譲渡、フリマアプリ等での販売を行うことができませんのでご注意ください。

また、一部町村・品目では出荷が可能です。出荷前にモニタリング検査を行う必要がありますので、県農林事務所までご相談ください。
安全な野生きのこの流通を図るため、皆様の御協力をお願いします。

●野生きのこ出荷制限位置図



備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



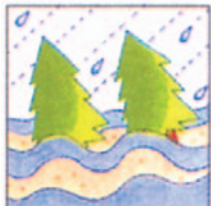
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



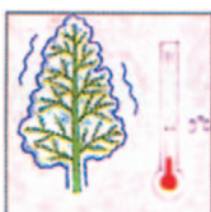
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
- または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8 コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



- (南東北支店) 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
- (本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
- (支 店) 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリーンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)
ハチノックS (携帯用スプレー)

新商品

猪レスSTOPテープ

ヒルノックWスプレー

ヒルノックW



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野 1-19-10 お問い合わせ TEL. 03(6740)7777 平日 9:00~17:00 (土日・祝日は休み)



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

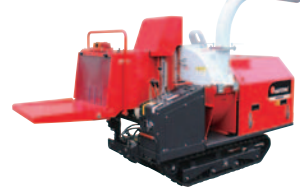
ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1